

おおきに健康 歯とお口から

Vol.05
News
Letter

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>

平成27年度下半期が スタートしました



副病院長 林 美加子

今年度も下半期がスタートし、歯学部附属病院では10月より2階の矯正科が改修工事にはいりました。改修は来年3月末の完了を予定しており、その間は3階の一般歯科総合診療センター診療室にて矯正科の診療を行います。改修期間中は、皆様にご不便をおかけする局面があるかもしれませんが、より良い診療環境を整えてまいりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年度からの本院への外来・入院患者さんの動向をみますと、外来には1日平均900～950人前後の患者さんが通院されており、病棟には1ヶ月あたり延べ1000人前後の入院患者さんがおられます。初診患者さんは毎月およそ1200～1500人を数え、そのうち約60%は近隣5市（吹田、豊中、箕面、茨木、高槻）から来院されており、まさに大阪大学のモットーでもある「地域に生き、世界に伸びる」を実践しています。

本院では、歯科医師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、医師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、言語聴覚士、栄養士および事務職員など、多様な専門家が緊密に連携を図り、口腔医療に特化した大学専門病院として患者中心で質の高い医療の実現を理念としています。これからも、安心、安全、快適な歯科医療を提供できるよう、全診療科・全スタッフの総力を挙げて邁進してまいりますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

内面

- 特集 1.
歯学部附属病院は院外でも様々な活動をしています
- 特集 2.
お口の健康は歯科衛生士とともに
- 特集 3.
事務部のご紹介

お口の相談コーナー・改修工事のお知らせ

裏面

- 7月～9月の統計情報
- 病院概要とお知らせ



歯学部附属病院は院外でも様々な活動をしています

歯学部附属病院長 前田 芳信

●口唇裂・口蓋裂治療相談会



口腔外科1(制御系) 古郷教授



矯正科 山城教授

本年6月21日、大阪大学コンベンションセンターにて平成27年度の口唇裂・口蓋裂治療相談会・講演会を開催いたしました。本院に通院されている患者さんやご家族、医療連携していただいている地域の矯正歯科の先生方に多数ご参加いただきました。今回は、口腔外科1(制御系)古郷教授と矯正科 山城教授による本院で行っている手術、矯正治療に関する講演を聴いていただくとともに、個別の治療相談にお答えし、治療に対する理解をより深めていただくことができました。

●サイエンスフェスタ



サイエンスフェスタは、毎年西梅田のハービスホールを会場に催され、子供たちにより物理、化学に興味をもってもらうことを目的に、いろいろな大学や、高等学校あるいは研究所、企業が分かりやすい展示やデモンストレーションを行っています。毎年8月後半の土日の2日間に開催されます。夏休みの自由研究の課題の資料集めにはかっこうの場となるため、2~3万人の参加者がある人気のイベントです。このイベントに、大阪大学理学部教授ならびに大阪科学技術館館長であった高橋憲明先生のご厚意で、歯学部附属病院を代表して咀嚼補綴科から参加しています。今年は体組成が分かる体重の計測とカメラで撮影した顔面の動きを分析できるシステムを紹介しました。

●西日本医学生体育大会



ラグビーといえばマウスガードが必須のアイテムです。今年も8月7日から兵庫県の神鍋高原で西日本医学生体育大会のラグビー部門の競技大会が開催されました。この大会には30校以上、900名近い医学部のラグ

ビー部の選手や関係者が参加します。咀嚼補綴科ではこの大会の安全性向上のために マウスガードの義務化に協力して現場に参加して2004年から11年連続でサポート活動を行い、最近では口や歯のケガはほとんど起きないようになり成果をあげています。来る2019年には日本でラグビーワールドカップが開催されます。本院としてもスポーツ歯学の立場から積極的に開催に協力する予定です。

●市民フォーラム



(テーマ)
口の病気で困る、その前に

最新の歯科治療と歯科医学について広く市民へ情報発信し、市民の健康増進と歯学知識の向上を図ることを目的とした「市民フォーラム」を今年も開催します。



開会の挨拶
天野 敦雄 大阪大学大学院歯学研究科長・大阪大学歯学会会長

歯磨き再考：その目的を正しく知る
久保庭雅恵 大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学教室

矯正治療のウソ・ホントー早めに治療をした方がいいの？
谷川 千尋 大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔矯正学教室

大切にしてほしい「食べる」こと
田中 信和 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

お口ががんばはできる？～早期発見の重要性～
平岡慎一郎 大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第一教室

歯科医院との上手なつきあい方～口の病気で困る、その前に～
藤木 省三 大阪大学歯学部同窓会

閉会の挨拶
前田 芳信 大阪大学歯学部附属病院長

司会 今里 聡 大阪大学大学院歯学研究科 歯理工学教室 教授

日時：2015年11月14日(土)13:00～16:00
場所：千里ライフサイエンスセンター 5F(サイエンスホール)
定員：250人(入場無料)
※入場には別途申込みが必要です。

「歯科疾患患者さんの食事について」

栄養管理室 管理栄養士 畦西 克己

お口の相談
コーナー



上手く咀嚼や嚥下(えんげ)ができない患者さんの食事についてお話しします。咀嚼がしっかりできなくて、日常の食事が十分に噛むことができない場合、食べ物を一口の大きさにし、それでも難しい場合は、細かくみじん切りにすることが必要です。また、マッシュ状につぶすと食べやすくなります。野菜や肉などに切り込みを入れることや繊維と

垂直に切り、繊維を短くすることによっても噛みやすくなります。調理方法では圧力鍋を使用すると野菜や肉などを短時間に軟らかくすることができます。歯で噛まずに食べられるソフト肉団子のスープ煮を紹介します(写真1)。次に、飲み込みにくいなどの嚥下が十分にできない場合は、お茶などの液体やひき肉などのバラバラになるものはむ

せやすいため、澱粉やとろみ調整食品(とろみ剤)でとろみを付けることが必要です。また、ゼリー、プリン、ムースなどは飲み込みやすい食品です。ゼラチンやゲル化調整食品(ゲル化剤)を使用することにより、簡単にゼリーを作ることができます。なますのゼリーを紹介いたします(写真2)。

写真1 ソフト肉団子のスープ煮



材料 (一人前)

- 鶏ミンチ 60g
- 長芋… 30g
- じゃが芋 30g
- 玉葱… 20g
- 塩… 少々
- 醤油… 2ml
- 片栗粉… 3g
- 土生姜… 2g
- みりん… 2ml

作り方

- ① 鶏ガラスープ 150ml、じゃが芋はポイルする。
- ② フードプロセッサーを用いて、①をかき混ぜる。
- ③ ②を団子にし、味付けしたスープに入れ、煮る。

写真2 なますのゼリー



材料 (一人前)

- 大根… 50g
- 人参… 10g
- 塩… 少々
- 酢… 7ml
- 砂糖… 3ml
- ゲル化剤… 全体重の1%
- 水… 具材と同量

作り方

- ① 大根と人参を輪切りにし、ポイルする。
- ② ①の野菜に④の甘酢、ゲル化剤、水を加え、ミキサーにかける。
- ③ ②を鍋に入れ、沸騰するまで加熱する。
- ④ ③を器に入れ、荒熱を取り、冷蔵庫で冷やす。

お口の健康は歯科衛生士とともに 看護部歯科衛生士主任 山上千夏

食べること・話すこと・表情をつくることなど歯と口は「生きている喜びを実感する」場面で重要な役割を果たしています。また口の健康は全身の健康と深く関わっています。

口の病気であるむし歯や歯周病を予防して口の健康管理に取り組むことが健康で快適な生活につながります。

歯科の治療に関しては歯科医師が診断・計画・治療を行っていますが、同時に口の中を健康な状態しておくにも必要です。例えば歯の型を取る時、歯ぐきが健康であればきれいに型が取れますが歯ぐきが腫れているときれいに型が取れないことがあります。日頃のお手入れの良し悪しで傷の治りに違いが出たりもします。治療期間を通して、さらに良い状態を維持するためにも治療終了後の継続的な口の健康

管理は重要です。患者さんの口の健康に関する様々なサポートをしているのが歯科衛生士です。その仕事内容は歯科診療が安全にそして円滑に進むように診療室を整備し、歯科医師の診療の補助をします。またむし歯や歯周病を予防する処置としてフッ素を歯に塗布したり、歯石など口の汚れを特別な器具を使用して除去したり、口の健康に関連する生活習慣や口のお手入れ方法等について患者さんのお話をうかがいながら1人1人に応じたアドバイスをさせていただきます。当院には10名の歯科衛生士がおり外来の診療室を中心にこのような仕事をしています。患者さんから信頼されるように今後も努力を重ねていきたいと思っています。



歯みがきのポイント

- *歯ブラシの毛先を歯の面にあてて小刻みに動かしましょう。(歯と歯ぐきの境目・歯と歯の間・奥歯のかみあわせは丁寧に)
- *軽い力で1本ずつ丁寧に磨きましょう。



入れ歯のお手入れ

- *食事のたびに外してブラシを使用して洗いましょう(粘膜にあたる部分・金属のバネの部分は丁寧に)

矯正科診療室の改修のお知らせ

2F 矯正科では平成28年度の4月より新しい診療環境が整う予定です。つきまして、改装工事が行われるために本年平成27年10月16日から来年3月末の改装完成までは3Fの総合歯科診療センター(右記の案内図)にて、これまで同様の内容の治療を行う予定です。

患者さんにはこの間ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



事務部のご紹介

第1回 業務課

事務部長 田中一彦

本院には、病院の診療受付業務などの医療事務や管理運営等を行う組織として事務部を設置しており、病院長や病院執行部等の指示のもと様々な業務を行っております。

また、本院は国立大学法人大阪大学の歯学部附属病院であるという性質上、歯学研究科・歯学部及び附属病院にかかわる事務も行っていきます。

事務部は業務課と総務課で構成されており、清掃など専門的な業務を行う請負業者等の協力を得て、日々業務を行っています。

今回は患者さんに直接関係した業務を行っている業務課についてご紹介させていただきます。

業務課では、まず来院された患者さんの受付業務から始まり診療終了後の診療費用の計算・徴収までの事務手続だけではなく、診療情報管理、電子計算機関係事務、医

療安全管理、院内感染対策、患者給食の栄養管理等、病院内の各種委員会と担当医師の指示を受け法令等に基づき、来院されるすべての患者さんに対して安全安心な歯科医療を提供できるように日々努力しております。

なお、現在2階で診療室の改修工事(来年3月末、完成予定)を行っている影響で、1階受付の仮設場所で料金計算などの業務を行っており、また、仮囲いの設置等で廊下が狭くなるなどご不便をお掛けしておりますが、工事は来院される皆様にご迷惑をお掛けすることの無いよう、可能な限り診療時間外に行う予定にしております。より安全でより快適な病院とするための工事を行っておりますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

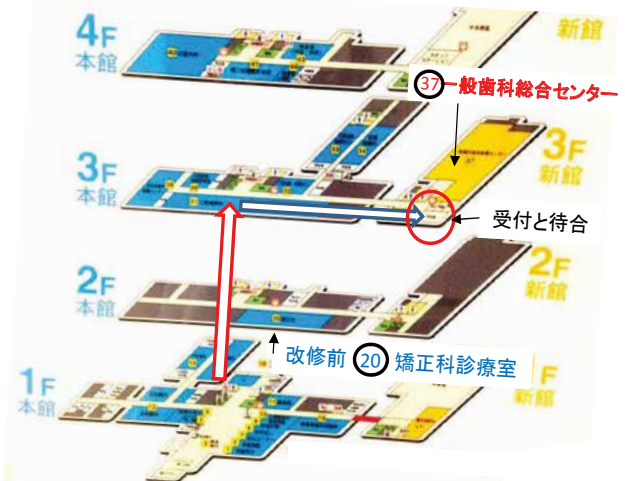


ご迷惑をおかけして申し訳ありません



改修に伴う 診療室移転のお知らせ

⑳ 矯正科では本年10月16日より来年3月末まで診療室の改修工事をおこないます。工事期間は3F新棟の㉟ 一般歯科総合診療センターが代替診療室となります。

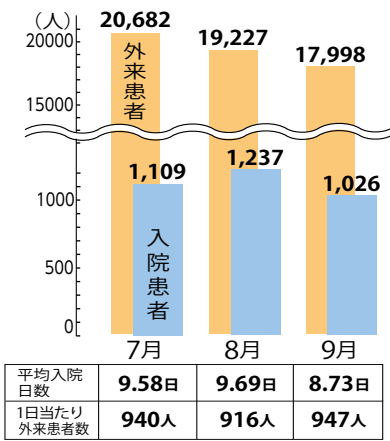


エレベータ ↑ 徒歩 →

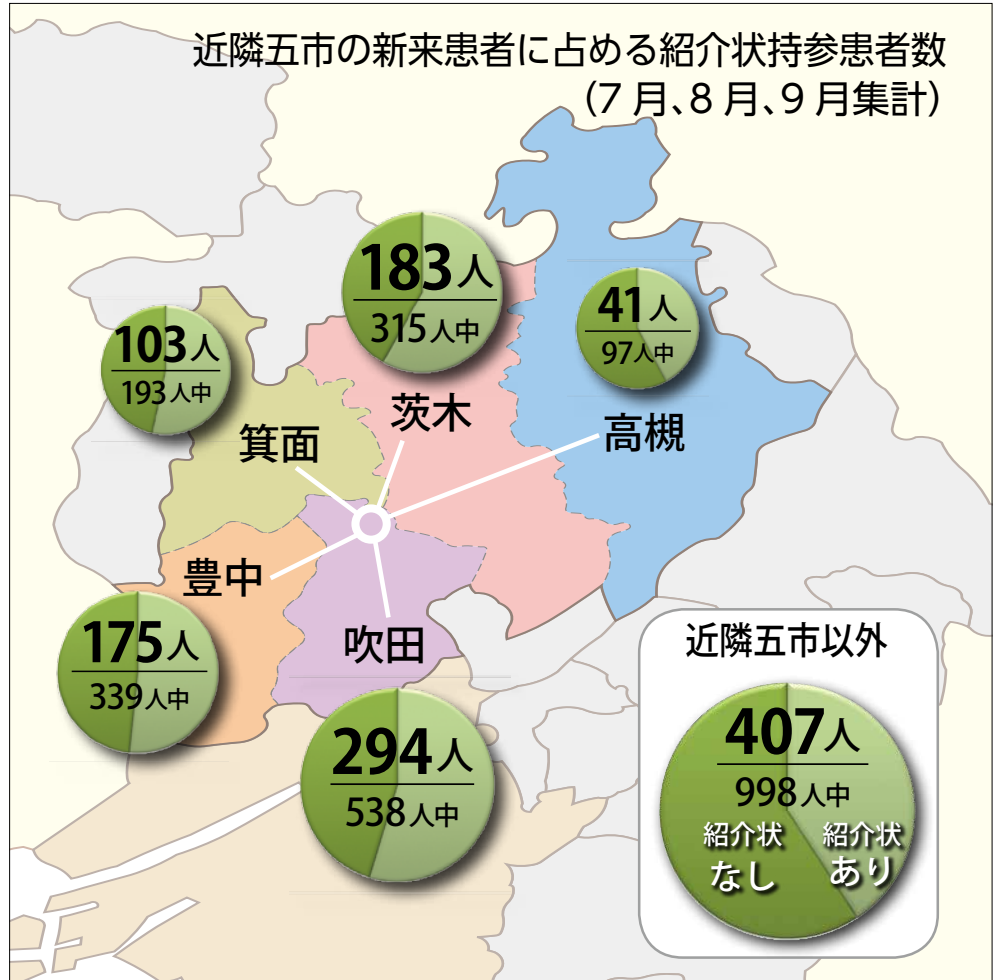
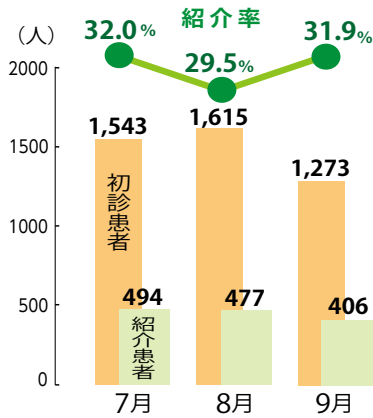
ご迷惑をおかけします。

7月～9月患者数等統計

外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門（歯学部）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。



http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

患者さんへのお知らせ

本院は災害等非常時に備え、国立大学病院医療情報システムデータの遠隔バックアッププロジェクト（参加全国49施設）に参加しており、電子カルテシステムに記録した患者さんの診療情報の一部を、厳しく管理された複数の国内のデータセンターに外部保管しています。これにより大災害時等でも、患者さんの同意等があれば、保管された診療情報を他医療機関で参照することができます。大災害時に備えて患者さんの大切な診療情報を守るため、国立大学病院が共同で進めているプロジェクトですので、何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

看護師募集中!

—お問合せ—
歯学研究科
総務課
人事係
06-6879-2834
まで